

## つきたい力

情報活用能力、他人の意見を参考にして自分の意見を深めたり広げたりするコミュニケーション力

## 取組みの概要・ポイント

- ・ 端末を活用した協働学習を行う際に、アウトプットする場面づくりを研究する。
- ・ 各教科の情報活用能力の指導計画をたて、端末を活用した授業の共有を行う。

## 具体的な取組みの内容

### ◆ スキルアップに向けた取組み

#### ・公開授業（2回）・研修会

思考スキル・シンキングツール・タブレット端末を活用した授業づくりについての校内研修（5, 6月）を行う。インプットとアウトプットの黄金比は3 : 7であることをキーワードに、個別最適な学びの実現に必要なことや探究的な学習過程の授業設計についての研修を行う。（9,10,1月）

「桜台中学校 情報活用能力育成計画」についての詳細は下のQRコードよりご覧ください。



#### ・各教科で取り組む情報活用能力の育成

教科会で文科省「情報活用能力の育成」リーフレットの「情報活用能力体系表」を参考に教科で「情報活用能力育成計画」を作成した。



#### ・端末を活用した授業の共有

学力向上担当と協力し、授業内容の共有や相互授業参観計画を立て、全職員で共有した。



#### ・SDGs「探究ノート」・海外との遠隔授業

自ら課題を見つけ、調べ、考え、判断してまとめる力、海外への遠隔授業をととしてプレゼンテーション資料作成力等を指導する方法の共有をした。



#### ・授業内容の発信と共有

全職員が毎時間の授業の内容と使用プリント、課題をロイロノートに掲載し、毎日の復習や次の授業への準備に繋がるようにした。これは、支援学級の生徒や欠席者、不登校生など全ての生徒の学習支援になった。

### ◆ 協働的な学びを活かしたアウトプットする授業づくり

#### ・1年生の例（シンキングツールによる個人→班学習→教室全員での共有）

個人でシンキングツールで思考 → 班でお互いの意見交流 → 班の意見を全体で共有

各自で2度の分析を比較してシンキングツール（ベン図）に考えを貼り付ける  
班で各自の分析を交流し意見をまとめたベン図を提出する  
各班の意見を全体で交流する

#### ・2年生の例（調べ学習による個人→テーマ別班学習→学年全員Meetで共有）

各自でSDGsを調べ学習 → 同じテーマの班でスライド作成 → アドバイザーの前で発表しMeetで学年全員に配信

#### ・3年生の例（個人のスライド作成→班で地域文化紹介→台湾の中学生との交流）

個人で紹介スライド作成 → 班でスライドを英文で紹介するパフォーマンスを練習して練り上げ → 台湾の中学生の紹介Meetで遠隔交流授業

## 取組みを通しての子どもの変容

- ・ インターネットなどを使って、自分が必要とする情報を集め、信頼できる情報を選ぶことができる。4月(75%)→7月(91%)→12月 (93.5%)
- ・ 自分の考えや調べたことをプレゼンテーションソフトなどを使って、わかりやすく人に伝えることができる。4月(50%)→7月(75%)→12月 (81%)
- ・ タブレットを使って話し合う活動をする中で、自分の考えを深めたり広げたりしている。4月(50%)→7月(75%)→12月 (89%)